

THE
CAMP
STYLE
COLLECTION

09 / 70

MEMBER

相馬拓也さん (31)
さとみさん (31)

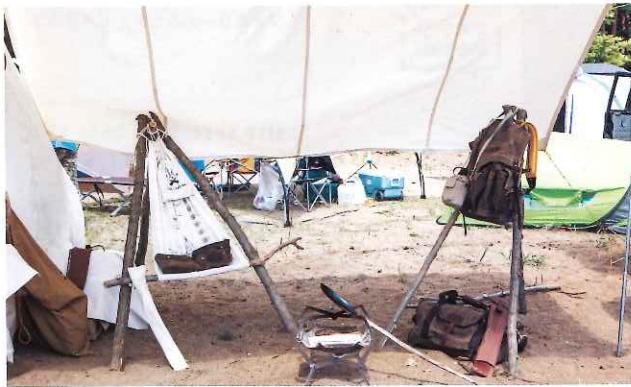
SITE SPEC

■テント: フロストリバー / キャンプファイヤーテント ■タープ: フロストリバー / ノースウッドタープ、テントマークデザイン / ムササビウイング ■テーブル: スノーピーク / ワンアクションテーブル
■ヘリノックス / タクティカルチェア
■ランタン / ペトロマックス / HK500



自然にあるもので
自らギアを作り出す
キャンプスタイル。

最近は欧米ではやりのブッシュクラフト。自然の中にあるもので、ギアを作りながらキャンプを楽しむ。そのため、必要最低限のギアのみ持ち山へ向かう。相馬さんはブッシュクラフトを広めようと活動中のひだり。このときも、現地調達できる木を使い、いすやさまざまなギアを製作していく。まさに自然と共存する、そんなサイトである。



ブッシュクラフトの中でも比較的簡単に作れるのが、「ブッシュクラフト A チェア」と呼ばれる。布と木の枝で完成する。座面の布は巾着のような形状で、荷物も収納可能。今回使っていた布は、ブッシュクラフト仲間のイラストレーターが作ってくれたもの。ロープワークやこのいすの作り方が描かれている。



ブッシュクラフトに愛用者の多いベイカーテン。今回は「フロストリバー」のものを設営。焚き火前提で作られたテントで、100%コットン製。特殊な織りで撥水性が非常に高い。実際に雨が降っても玉のように水を弾き、水分が染みることもない。同ブランドのタープを屋根のように付け、焚き火を楽しむ。



エイジングペイントで味のある一台に。

4~5年前から乗り始めたトヨタのランドクルーザー。こちらは「80」と呼ばれる80年代のモデル。2代目となる愛車は、エイジングペイントで迷彩柄にチェンジ。わざと錆びているかのような、色やデザインにしている。



1. <ウェッタリングス>の斧を<バークリバーン>がカスタムしためずらしいモデル。通常よりも持ち手が細身。ナイフはブッシュクラフト仲間のハンドメイド。
2. 大人4人用のテント内。<ヘリノックス>のコットは、柔軟性合わせでソルディック柄の布を巻いた。
3. フィンランドのブランド<ムーリカ>のフライパン。ブッシュクラフト用で、もとから持ち手がない。焚き火用なので長い枝を付けて使う。
4. タープ下に<eno>のハンモックを設置し快適さアップ。